

一般社団法人日本鉱物科学会  
2021年度第1回定例理事会 議事録

【1】招集年月日：2021年9月9日(木)

【2】開催年月日及び時刻：2021年9月17日(金) 17時30分～18時30分

【3】開催場所：筑波大学 自然系学系B棟 417室  
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
(Zoom Meeting によるオンライン会議)

【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数：21名 (オンライン会議参加)

宮脇律郎，大和田正明，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，池田 剛，磯部博志，  
大藤弘明，鍵 裕之，片山郁夫，川本竜彦，河上哲生，黒澤正紀，辻森 樹，  
土屋範芳，永井隆哉，永嶋真理子，伴 雅雄，三宅 亮，塚本尚義，吉朝 朗

【6】欠席理事数：1名(栗林貴弘)

【7】出席監事：小暮敏博

【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：Elements編集委員会 森下知晃Elements幹事，和文誌編集幹事代理 高澤栄一副委員長，  
JpGU選出プログラム委員 門馬綱一(正)・西原遊(副)，教育普及委員会 林信太郎委員長，  
新鉱物・命名・分類委員会門馬綱一委員長，博物館委員会 坂野靖行委員長，IMA小委員  
会・

学術会議連携会員：西山忠男委員長

欠席：2022年年会運営委員会小西博巳委員長

【9】議事概要

宮脇理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，黒澤正紀理事が議長に選出された。  
黒澤議長から，2021年9月9日に理事会招集通知を行い，本日第1回定例理事会を開催すること  
になった旨の報告があった。

次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事22名の出席を確認したの  
で，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，黒澤議長はWEB会議システム(ZOOM  
Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の  
音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がな  
いことを確認し，2021年度第1回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で黒澤正紀理事が書記として選出された。

## I. 報告事項（各幹事，委員会報告）

### 1. 会長・副会長の職務執行報告（宮脇会長・大和田副会長）

会長，副会長より，個別の業務は各担当者に一任していることから，以下の順に沿って各担当者から報告を行うことが述べられた．

### 2. 新理事の紹介（宮脇会長）

宮脇会長より，長瀬敏郎前理事の辞任に伴う残任期の後任理事として，本日の総会で新たに選任された永井隆哉理事(北海道大学)が紹介された．任期は，本日9月17日から前任者任期が満了する2022年9月に開催する2021年度総会終了時までとなる．

### 3. 各幹事，委員会，研究部会報告

#### 【1】庶務報告（黒澤庶務幹事・理事）

##### (1)和文誌編集幹事の辞任の報告

黒澤庶務幹事より，長瀬敏郎和文誌編集幹事から一身上の都合で9月17日をもって辞任する旨の辞任届が提出されたことが報告された．後任は，後の第1号議案で，岩石鉱物科学編集委員会から会長に推薦された和文誌編集幹事について審議することとした．

##### (2)任期満了による委員長と委員の交代の報告

黒澤庶務幹事より，任期満了および長瀬敏郎委員の委員辞任に伴い，以下の委員会で委員長および委員の交代と補充が必要との報告がなされた．各委員会の新委員長は，委員会のこれまでの経緯に基づいて会長による指名がなされる予定で，新任委員は新委員長によって指名される予定．新委員長については第3号議案で審議することとした．

#### 日本鉱物科学会賞選考委員会

構成委員11名で，うち1名は会長．委員長は会長が指名し，副委員長は委員の中から委員長が指名．

#### 渡邊萬次郎賞選考委員会

構成委員8名(うち2名は理事)で，1年ごとに半数交代．委員長は2期目の委員から会長指名．副委員長は原則として1期目委員から委員長が指名．

#### 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

構成委員10名(うち2名は理事)で，1年ごとに半数交代．委員長は2期目委員から会長指名．副委員長は原則として1期目委員から委員長が指名．

#### 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

構成委員10名(うち2名は理事)で、1年ごとに半数交代。委員長は2期目委員から会長指名。副委員長は原則として1期目委員から委員長が指名。

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会：構成委員10名(うち2名は理事)で、1年ごとに半数交代。委員長は2期目委員から会長指名。副委員長は原則として1期目委員から委員長が指名。

### (3)委員会委員辞任報告

黒澤庶務幹事より、長瀬敏郎委員から教育普及委員会・櫻井賞選考委員会・博物館委員会の委員についても辞任するとの連絡を受けた旨、報告がなされた。教育普及委員会では今後の委員会審議で後任理事を指名予定、櫻井賞選考委員会では後任委員を当面補充しないこと、博物館委員会では後任を後の博物館員会報告で報告することとした。

### (4)新規委員会設置の報告

黒澤庶務幹事より、2022年7月中に会長・副会長・監事・理事等の役員選挙を実施予定のため、選挙管理委員会委員の選出が必要との報告がなされた。委員選出については、第5号議案で審議することとした。また、会長および副会長候補者の推薦に必要な会長・副会長候補者推薦委員会の設置と委員の選出方法について、第6号議案で審議することとした。

### (5) JpGU 2022年学会選出プログラム委員

黒澤庶務幹事より、日本地球惑星科学連合2022年大会開催のために、プログラム委員(正副、各1名)の選出が必要との報告がなされた。委員選出は、第7号議案で審議することとした。

## 【2】第1回定例理事会前に開催した委員会報告(開催順)

### (1) 将来企画委員会報告(大和田委員長・副会長)

大和田委員長より、2021年9月15日開催の将来企画委員会の内容について以下の通り報告がなされた。

1)2022世界鉱物年に向けた企画案：対外的には文科省で毎年夏に開催される「科学の普及」企画への応募、SNSやYou Tube等での情報発信の充実、博物館での鉱物展示の脇に世界鉱物年のロゴ設置を検討。学会内では、JMPSとGKKでの特集号や著者承諾を得た場合は論文トップページにロゴを入れることも検討中。2)鉱物写真の有効活用：宝石協会から依頼された切手用写真の未使用ストックが大量にあり、これらの有効活用について検討予定。

### (2)和文誌編集報告(委員長代理：高澤栄一副編集委員長)

高澤和文誌編集幹事代理より、2021年5月29日に開催された第2回定例理事会報告以降の状況と2021年9月16日開催のGKK編集委員会について以下の報告がなされた。

#### 編集状況報告

1)2021年9月15日現在まで、岩石鉱物科学50巻2号,3号の合計2号が発行された。掲載件数頁数は原著

論文1件8p, 資料・解説6件47p, 新刊紹介1件1p, 学会記事(理事会・総会議事録) 25p, 白頁1p, 2号分合計頁82p, 1号平均頁41p

2) 発行状況: 50巻2号(2021年5月31日発行; 電子ジャーナル2021年5月26日公開) 受賞紹介3編: 50巻3号(2021年7月31日発行; 電子ジャーナル2021年7月13日公開) 原著1編, 資料他 2 編

3) 現在受理論文が1編.

2021年9月16日開催GKK編集委員会報告

1) 報告事項: 副編集長より, GKKの掲載状況および編集状況, 長瀬敏郎和文誌編集幹事・編集委員長 の辞任, 荒川洋二編集委員の退任について報告がなされた.

2) 審議事項承認結果: 編集委員会から会長に次期和文誌編集幹事として高澤副委員長を推薦する, ページチャージの検討: 原著論文が少ないことから据え置きで1ページ2500円のままとする, J-Stage掲載論文の3年間非会員に非公開の件: 早期に認証制限をかけない無認証へ移行する(次回理事会へ提案), 無料別刷の廃止: 電子ジャーナル化に伴って実施する(次回理事会へ提案), 電子ジャーナル化に伴う問題点洗い出しについて継続審議(投稿規定改正など), GKK編集委員会体制, 和文誌の方向性等の見直しの継続検討, 来年の国際鉱物年に向けて企画を検討.

(3) 英文誌編集報告 (吉朝英文誌幹事・理事)

吉朝英文誌幹事より, JMPSの編集状況および2021年9月16日の編集委員会での検討事項について以下の報告がなされた.

1) JMPS状況報告: 投稿論文不足により, 8月号掲載論文がようやく決定, 現在印刷中. 現在投稿論文11編(2021JpGU Letter 4 編含む).

2) 編集委員会報告: 2021年7月27日第3回臨時理事会での内容確認(学会費用での英文校閲中止(総会終了後の投稿から該当), ページチャージ費用改正: 4,000円/頁 会員6,000円, 非会員8,000円(総会終了後の投稿から該当), ページチャージ30%割引の廃止(総会終了後の請求書から該当, 但し発行済みクーポンは有効期限(2年)内利用可, シニア会員ページチャージ無料は継続審議), ページチャージにつく無料別刷50部は廃止(実施は電子ジャーナル化後)) 審議事項: a)電子ジャーナル作成は現在の印刷所に1年間契約延長を依頼予定(見積もり取得済み, 電子ジャーナルPDF本文カラー化の加算額無し), b)JMPS投稿規定等の変更文案を作成中で, 編集委員会で検討予定, c)特集号の計画を策定中, d)印刷経費削減のためのテンプレート化等の可能性について調査中, e)英文校閲は担当エディターの判断で業者を推薦して受理の判断として良いことを確認.

3) 編集委員長から, 今年は昨年来のコロナの影響もあるのか10月号, 12月号掲載論文不足の深刻な状況との説明があり, 積極的な投稿のお願いと特集号企画の依頼がなされた.

(4) IMA小委員会・学術会議報告 (西山IMA小委員会委員長, 学術会議連携会員)

西山委員長より, 2021年9月17日に開催されたIMA小委員会の以下の事項について報告がなされた.

1) IMAにおける以下の3ワーキンググループの新設置が報告され, 日本から10月末まで若手の参加募集依頼があった.

2) IMA2022 ( フランス・リヨン ) の学術セッションプロポーザル募集 ( 9月一杯 )

【3】 その他の幹事，委員会，部会報告

(1) 会員報告 ( 阿部会員幹事・理事 )

阿部会員幹事より，2020年度第3回定例理事会(2021年8月28日)以降の会員動静について，以下の通り報告がなされた．

退会者4名(内訳：一般会員1名，シニア会員2名，学生会員1名)であった．また，登録先住所不明，メールが届かない一般会員1名がいるので，関係者からの連絡をお願いしたい．

(2) 広報報告 ( 大藤広報幹事・理事 )

大藤広報幹事より，広報活動について以下の通り報告がなされた．

1)取材対応： 株式会社「えにさむ」より，学会の活動内容，社会との関わりなどに関する取材依頼があり，宮脇会長と広報幹事で対応．取材内容は，同社のホームページの「古イ未来」のコーナーで紹介予定． 株式会社ジャパンジャーナルより，日本の国石として選定されたヒスイに関して取材申し込みがあり，会長を中心に対応．ヒスイの産地や特徴，利用の歴史や国石として選ばれた背景などについて，「HIGHLIGHTING Japan ( 2021年10月号 )」の特集企画「日本における石の文化」の中で紹介される予定．2)広報委員会(オンライン)の開催：今後の方針として公式SNS ( Twitter , Facebook ) とYoutube(動画コンテンツ)を活用した広報展開を強化．公式Youtubeチャンネル担当として，広報委員をもう1名追加．SNSによる会員，非会員へ向けた情報発信を増やすため，会員による新しい発見や重要な研究成果など(プレスリリース記事へのリンクなども)を学会公式SNSを通じて発信する試みを近く開始する予定．3)民間企業と学生会員の交流会：2021年年会での企画として，鉱物科学に関連のある分野で活躍されている民間企業と各大学の学生会員との懇談を目的としたオンライン交流会(9月17日(金)17：30～19：00)を実施，8社のエントリーがあった．また，学会HPへの民間企業のインターンシップやリクルート情報等の掲載も検討中．4)学会の広報窓口として専用メールアドレス(kouhou.jams@gmail.com)を新設(各広報委員へ自動メール転送)：窓口としての活用をお願いする．5)広報委員会の対応体制：大藤弘明(東北大)統括・諸対応，糀谷浩(学習院大)ホームページ担当，斉藤哲(愛媛大)JpGUブース担当，石橋秀巳(静岡大)Twitter担当，浜田麻希(金沢大)Facebook担当，延寿里美(愛媛大)Youtube担当．

(3) 渉外報告 ( 永瀧渉外幹事・理事 ) 特に無し．

(4) 行事報告 ( 磯部行事幹事・理事 )

磯部行事幹事より，2022年年会開催について以下の通り報告がなされた．

日程：2022年9月17日(土)～19日(月・祝)の学術講演会，定時総会，9月20日(火)の巡検(糸魚川方面)，  
場所：新潟大学 五十嵐キャンパス 総合教育研究棟，現地運営委員：委員長 小西博巳(新潟大学)，高澤栄一，M. Satish-Kumar，高橋俊郎(以上，新潟大学)，小河原孝彦，宮島宏(以上，フォッサマグナミュージアム)

(5)Elements報告（森下 Elements幹事）特に無し．

(6)特務幹事(細則等検討担当)報告（大和田特務幹事・副会長）特に無し．

(7)地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）

阿部JpGU地惑連合連絡担当委員より，JpGU理事会関係についての以下の報告がなされた．  
日本地球惑星科学連合2022年大会は，2022年5月22日(日)～5月27日(金)に幕張メッセで開催予定．  
開催形態はハイブリッド方式(オンライン+現地)の予定，プログラム委員長は石渡正樹氏(北海道大学)．大会のプログラム委員として正副各1名を選出し，9月27日までに登録することが必要．

(8)新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長) 特に無し．

(9)教育普及委員会報告（林委員長）特に無し．

(10)博物館委員会報告（坂野委員長）

坂野委員長より，以下の報告がなされた．

2021年8月25日に開催されたIMA博物館委員会ビジネスミーティングに委員長として出席．国際会議M&M10(2024)会議開催に関してイギリス他から提案があり，2022年初め頃に開催地決定という方針を決定．また、長瀬敏郎会員の交代委員として，三河内岳会員及び上原誠一郎会員が委員長により指名され，委員会です承された．

(11)研究部会「岩石 - 水相互作用」報告（土屋代表・理事）

土屋代表より，本年もスペシャルセッション「S2: 岩石-水相互作用」が開催されたこと，来年開催予定の国際会議WRT-17について，2023年の7月または8月に延期して開催を計画している旨，報告がなされた．

#### 【4】 その他の報告

(1)財政，雑誌・編集，事務局体制再建に向けた検討報告（大和田副会長）

大和田副会長より，電子ジャーナル化について実施に向けた課題の解決を図り，今後は事務局関係についても検討を進めるとの報告がなされた．

(2)その他：特に無し

## II. 審議事項

第1号議案 和文誌編集幹事の件（宮脇会長）

宮脇会長より，2021年9月16日開催のGKK編集委員会で推薦された高澤栄一委員を和文誌編集幹事とすることが提案され，審議の結果，異議なく承認された．それを受けて，会長から同委員がGKK

編集委員長に指名され、了承された。

#### 第2号議案 新入会承認の件（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、学生会員1名(記載省略)の入会が紹介され、異議なく入会が承認された。また、会費を2年間未納の一般会員3名に対して会員資格停止とした。この結果、2021年9月17日現在の会員数総数は、2021年8月23日の第3回定例理事会(842名)より4名減少し、835名(842名-退会4名-不明1名-停止者3名+入会1名)となった。

#### 第3号議案 各種委員会任期満了による各委員長の会長指名の件

(宮協会長説明：黒澤庶務幹事・理事)

宮協会長より、任期満了および長瀬敏郎委員の辞任に伴う各委員会委員長交代について、会長指名がそれぞれ提案され、審議の結果、異議なく承認された。なお、承認された新委員長により、各委員会新規委員、副委員長の指名があり、審議の結果、異議なく承認された。

##### 日本鉱物科学会賞選考委員会（任期1年）

委員長(会長指名)として井上徹会員(理事)が承認された。また、井上委員長より、新規委員として以下の9名の委員と副委員長の指名があり、審議の上、異議なく承認された。

委員長：井上 徹(理事)

新規委員：辻森 樹(副委員長, 理事), 山崎大輔, 三河内岳, 野口高明, 小松一生, 佐藤 努, 磯部博志(理事), 川本竜彦(理事), 吉朝 朗(理事), 宮脇律郎(会長)

##### 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長(会長指名)として伴 雅雄会員(理事)が承認された。新規委員、副委員長、2期目補充委員は次回理事会で指名し審議する。

##### 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長(会長指名)として糀谷浩会員が承認された。新規委員、副委員長は次回理事会で指名し審議する。

##### 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員長(会長指名)として河上哲生会員(理事)が承認された。また、河上委員長より、新委員として以下の5名の1期目委員と副委員長の指名があり、審議の上、異議なく承認された。

委員長：河上哲生(理事)

継続委員(2期目)：大場 司, 井上 徹(理事), 三宅 亮(理事), 小松一生

新規委員(1期目)：栗谷 豪(副委員長), 福山繭子, 阿部なつ江(理事), 岡本 敦, 門馬綱一

##### 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長(会長指名)として川野 潤会員が承認された。新規委員、副委員長は次回理事会で指名し審議する。

#### 第4号議案 行事委員会委員(2022年新潟大学LOC委員から)追加の件（磯部行事委員長・理事）

磯部行事幹事より、2022年新潟大学での年会開催に関連して行事委員会委員に小河原孝彦会員(フォッサマグナミュージアム)を加える案が提示され、異議なく承認された。

#### 第5号議案 2022年7月中実施の役員選挙における選挙管理委員会委員の選出

(黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、選挙管理委員会委員(3名以上の正会員、名誉会員)として、前委員の則竹史哉会員(山梨大学)・中村佳博会員(産総研)・遠藤俊祐会員(島根大学)の3名を選出することが提案され、異議なく承認された。

#### 第6号議案 会長・副会長候補者推薦委員会委員選出方法の件(黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、会長・副会長候補者推薦委員会の委員選出の方法について昨年検討しなかったため、これまでの慣行を踏まえ、下記のように役員選出内規を改正することが提案され、審議の後、異議なく承認された。会長から、委員会委員候補者を次回理事会まで検討するよう依頼があった。

#### 改正箇所

5.(1)次期会長・副会長候補者の推薦を目的とした会長・副会長候補者推薦委員会を設ける。この委員会は5名の委員によって構成され、委員は理事が正会員、名誉会員の中から委員候補者を選挙で理事会の議を経て選定し、会長が委嘱する。委員の任期は選出された日から選挙実施年度の定例社員総会終了時までとする。委員長は委員による互選とし、理事会に報告、会長がこれを委嘱する。

#### 附則

令和3年(2021年)9月18日改正

#### 第7号議案 JpGU 2021年学会選出プログラム委員選出の件(宮脇会長)

宮脇会長より、日本地球惑星科学連合2022年大会の学会選出プログラム委員(正副、各1名)として、現委員の門馬綱一委員(正)と西原遊委員(副)が提案され、異議なく承認された。

#### 第8号議案 名誉会員推薦委員会内規と推薦方法の検討について(黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、2021年8月28日開催の2020年度第3回定例理事会で検討された名誉会員の推薦および推薦条件についてさらに検討するため、新たな委員会(仮称：名誉会員等検討委員会)の立ち上げが提案され、審議の後、異議なく承認された。なお、委員の人選は次回の理事会まで検討する。

#### 第9号議案 臨時理事会の件(黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、JMPS・GKK誌の電子ジャーナル化、各委員会交代補充等の件で審議すべき事項が予定されているので、今年度内に臨時理事会(ZOOM)を開催することが提案され、審議の後、異議なく承認された。

(1)大藤理事から、現在のGKKの編集委員数、和文誌の目指すべき方向性などGKKの根本的問題について、若手会員を含めて明日開催の財政問題WGで議論を進めたいという意見があった。

(2)大和田理事から、電子ジャーナル化について会員へ周知した際、1名から会員減少の原因、鉱物科学への魅力を発信できる学会誌発行などの貴重な意見があったことが紹介され、今後関係員会で検討してほしいとの意見があった。

#### その他

会長から、名誉会員候補者推薦の際の情報収集のため、名誉会員の氏名を学会HPに公開することについて、今後、関係員会で検討するよう要望があった。



以上の議事を終え、18時30分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年(2021年)10月15日

会 長 宮脇 律郎 印

副会長 大和田 正明 印

監 事 小暮 敏博 印

( 配布時押印省略 )